

在韓被爆者問題に関する最近の動き

元・8・22

北東アジア課

1. 全般

(1) 韓国国内の在韓被爆者問題に対する関心は、終戦記念日（光復節）を契機に、例年になく高まっている。

(2) 韓国マスコミは、新聞、ラジオ等で相次いで特集を組み、対日要求を強く訴えている。

(3) 8月9日の追悼式においては、与党有力議員らが出席し、本問題の解決に向けての強い決意を表明した。

(4) 日本国内の政界、マスコミ等においても、本問題への注目の兆候が見られる。

2. 韓国国内における最近の報道ぶり

(1) 8月3日付 朝鮮日報

原爆投下44年、悪夢は終らず。被害韓人3世も”原子病”

(2) 8月7日付 国際新聞

2千余[?]被爆者達、悪夢の歳月。国の体裁口実で、日本の無料治療の機会霧散。

(3) 8月10日付 韓国日報

原爆犠牲追悼式、日本の補償を要求。

(4) 8月12、13日 K B Sテレビ

報道特集”原爆被害の韓国人たち”。被爆韓国人の実態や問題点を取り上げたドキュメンタリー、1万5千人余の被爆者の後遺症と生活苦を映像化

(5) 8月14日付 東亜日報

日本側に原爆被害23億ドル要求。現在、日韓間に外交交渉が進行中。

(6) 8月15日付 朝鮮日報

政府は、被害者への治療 療養の実質的支援を日本政府に要求。日韓は、基金作りの問題につき協議中であり、日本政府は今年度、原爆協会に治療費の名目で、毎年4200万円支援、と外務部発表。

(7) 8月15日付 韓国日報

保社部は、100億ウォン規模の基金作りに日本政府が協力するよう外務部に交渉を依頼。人道的次元から、日本政府が福祉基金を拠出するよう外交チャネルで推進中

(8) 8月16日付 韓国日報

被爆者賠償交渉、日本外務省では否認。

3. 最近の韓国国会議員の動き

(1) 韓国原爆犠牲者追悼式に、与党より李鍾贊（イジョンチャン）事務総長が出席し、本問題解決のため両国政府は外交努力を行う時期にきている、と表明。

(2) 同追悼式における朴炳蒼（パクピョンソン）共和党議員の追悼辞は、現職国会議員によるものとして、近年まれな事象。

4. 最近の日本国内における動き

(1) 8月中旬、テレビ朝日が、韓国人被爆者関連の放送を行うなど、原爆記念日、終戦記念日を契機として、本問題に関するマスコミの関心が顕著になっている。

(2) 韓国の追悼式において、山下官房長官の秘書役、東良平氏が、長官の追悼辞を代読、また、長官の本問題への関心の深さと、大統領訪日を契機としての解決の姿勢について内話。

(3) 李源京大使の山下官房長官表敬において、長官から本問題につき、誠意をもって処理に当たりたい旨を表明。

(4) 日韓議連においても本問題について注目中。